

# きらめき通信 Vol.2

こんにちは。きらめき通信 Vol. 2をお届けします。

今回は、2月4日(金)に開催されました『第1回スタッフ研究発表会』をご紹介します。

『スタッフ研究発表会』では、きらめきスタッフによる一年間の研究の成果や、家事・育児・仕事の両立をどの様に行ってきたかななどの報告をポスター形式にして貼りだし、きらめきプロジェクトでの1年間の活動を紹介しします。

当日は、九大教職員の方やスタッフの患者さま、一般企業の方など沢山の人が三々五々閲覧に来られました。スタッフの発表ポスターを興味深く熱心に見られている姿が印象的でした。

今回、会場横にカフェブースを設け、当スタッフが来場されたお客様と談笑したりと賑やかな会場となりました。

たくさんの男性医師や企業の方、九大病院事務職員に見に来ていただき関心を持っていただくことが、これからの『きらめきプロジェクト』の発展に大きな力となります。全ての医療人が、しあわせに働き続けられることが、延いては患者さまのためになることを信じて、更なる発展を目指して今後も活動を続けていきます。

最後になりましたが、今回のイベントでもNPO法人九州医療システム研究機構さま、総合メディカル株式会社さまに共催していただきました。ありがとうございました。



きらめき事務局

九州大学病院 きらめきプロジェクト キャリア支援センター  
きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL/FAX:092-642-5203

MAIL:kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL:https://www.kyudai-kirameki.com



今回のスタッフ紹介では、テクニカルスタッフと、去年まで所属していたOGのスタッフを紹介します。

## 自己紹介

卒後約 20 年の看護師です。夫と二人暮らし。

卒業後は臨床看護師として働いていましたが、結婚を機に離職し専業主婦へ。その後、夫の転勤先で看護師の経験を生かせる臨床以外の仕事を見つけ、少しずつ続けてきました。将来、家庭と両立できる社会復帰を模索しつつ、現在学生として再勉強中です。きらめきプロジェクトでは、テクニカルスタッフとして週1回勤務し、プロジェクトの運営や研究の支援業務に携わっています。



## 1週間のスケジュール

きらめきプロジェクトでの雇用時間は、4 時間/週ですが、撮影などの業務にあわせてフレキシブルに働いています。それ以外の時間は、家事や家族の世話、学生としての活動にあてています。しかし、久しぶりの勉強には時間がかかるもので、あっという間に時が過ぎ、もう少し時間があれば…と思う毎日です。家事の合間や通勤時間を利用して、自分の勉強時間を作る工夫をしています。

## きらめきプロジェクトでの業務内容と身につけたことや収穫

### **\*e-ラーニングによる教育学習支援**

主に、電子教材作成や電子教材を配信する Web ページの管理を行っています。この業務は、撮影や編集にさまざまな機材やソフトを取り扱いますが、何もかも初めての経験で、新鮮で楽しいものです。撮影現場では、イベント運営のノウハウを学びました。講演会の撮影では、最先端の医療実践に間接的に触れることができ、復職へむけた貴重な学習機会となっています。

### **\*研究支援業務**

きらめきプロジェクトで実施した、医療人の健康と働きがいに関する調査結果をまとめる研究作業に参加しています。この研究結果が、医療スタッフの皆さまのお役に立てるよう、現在論文としてまとめているところです。研究支援の業務を通じて、今後の研究活動に役立つ多くのスキルを身につけることができています。

## さいごに

きらめきプロジェクトでの経験は、復職のステップとしてとても貴重なものです。臨床以外の領域でも看護師としての活躍の場がたくさんあり、ライフスタイルに合った看護師の働き方の可能性を感じています。

また、きらめきでの活動を通じて、いろいろな方々と知り合うことができ、専業主婦だった頃とは違う刺激をたくさん受けています。これらの出会いに感謝し、大切にしていきたいと思っています。

## 自己紹介

看護師になって 20 年ほどになります。その間、看護師や大学教員として勤務した後、夫の転勤・妊娠・出産で 2 年間ほど休職後に、きらめきスタッフとして仕事を再開しました。きらめき勤務中に第 2 子を出産し、今年度からは、九州大学病院看護部で週 2 日のパート勤務をしながら、大学院に在籍して勉強中です。



## きらめきプロジェクトに入ってからの生活の変化や育児また介護等の仕事の両立にまつわる話

きらめきプロジェクトの勤務を始めた頃は、しばらく仕事から離れていたの、仕事と子育ての両立ができるのかとても心配でした。上の子が 1 歳 4 か月で、保育園探しから行いました。仕事も週 2 日から始め、途中から週 3 日勤務になり、仕事と子育てのバランスを徐々に整えてきました。きらめきでは、女性のライフイベントが仕事に及ぼす影響に関する調査に携わることができ、自身の体験をふまえた研究ができとても勉強になりました。また、e-learning 教材作成もさせていただきました。それまでホームビデオの撮影もできなかった私ですが、今では編集ソフトで 2 画面を組み合わせた e-learning 教材を作成したりする技術を身につけることができ、貴重な経験をさせていただきました。

子育てに関しては、両親の支援が受けられず夫の帰りが遅いため、保育園以外に預け先がなく夜の研修や学会参加などできずストレスを感じたこともあり。しかし、地域のファミリーサポートセンターの紹介で子供を預かっていただける方を紹介していただき、そのストレスもずいぶん軽減しました。最近、今まで参加できなかった研修会などにいくことができるようになり、たくさんの支援を受けて得られた貴重な「自分の時間」を大切に過ごしたいと思っています。

## 主な週間スケジュール

火・木曜日は、パート勤務。月・水・金は研究活動です。ほぼ毎日大学に来ています。朝 5 時起床、6 時半子供起床、8 時子供を保育園へ連れて行き出勤。17 時半帰宅後、食事・入浴。20 時から寝かせつけ。21 時から片づけ明日の準備(夫の世話)、余裕があれば 0 時就寝までが自分の時間です。家ではばたばたした毎日ですが限られた時間なので少しの時間でも集中するようにしています。

## これからの目標

大学院での学位を取得が一番の目標です。その後は、学んだことを社会に(家庭にも)還元できるような職場で(子供や自分の無理のない範囲で)働きたいと思います。子供の笑顔や励ましが力になります。子供がいることで制限されることも多いのですが、できることを一生懸命頑張ろうと日々過ごしています。

# きらめきスタッフ韓国での学会発表報告

平成 23 年 2 月 22 日

目的:14<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars, EAFONS 2011 での研究発表

日時:平成 23 年 2 月 11-12 日

場所:Seoul Olympic Parktel, Seoul, Korea

内容:九州大学病院きらめきプロジェクトで行った「女性医療人健康と働きがいに関する調査」結果の一部を、EAFONS 2011(東アジア看護学研究者フォーラム)にて発表しました。EAFONS は、東アジアで年一回開催されている看護系大学の博士課程修了生、博士後期課程大学院学生、若手教員を対象とする国際フォーラムです。今回このフォーラムにおいて、2演題を示説形式で発表しました。

1演題は、タイトル “The Status of Mental Health and Affective Factors on Female Nurses Working at Japanese University Hospitals”で、大学病院に勤務する女性看護師のメンタルヘルスの現状と影響要因を検証したものです。その結果、看護師の6割以上が精神健康上“非健康”で、精神健康上の“健康”群と比較すると結婚状況、勤務時間数に違いがあったことが明らかとなり、“健康”群は、ストレス対処能力の程度を測る首尾一貫感覚(Sense of Coherence : SOC)のスコアが高いことを発表しました。

2演題目のタイトルは “The Influence Factors of Life Events on Mental Health in Nurses Working at University Hospitals”で、看護師が結婚・出産・育児で受ける精神的な影響を分析し、育児中の看護師は仕事やプライベートで時間的な制約を受けることにストレスが高く、独身者は精神的健康状態が低いことが明らかになったことを発表しました。

学会プログラムでは、539 件の発表や、Evidence-Based Nursing に関するレクチャーなどが行われ、国際的な看護研究の動向に触れることができました。

学会主催の Hospital Tour へ参加し、Seoul ASAN Medical Center を見学しました。この病院は、病床数 2680 床、看護スタッフ 3000 人以上が勤務する韓国最大規模の中核病院で、メディカルスタジオを有し、専属のスタッフがデジタル映像の撮影・編集業務を行っており、デジタル化への取り組みが進んでいました。

